

めざそうバリフタウン

第14回車椅子レクダンス ふれあいフェスティバル全国大会 in 亀山

2011年11月12日(土)

プログラム	時刻
オープニング 亀山愛児園によるマーチングドリル演奏	12:50
1 開会宣言(実行委員長) 渡邊佐智男 実行委員長 (亀山支部長)	13:00
2 大会会長挨拶 黒木実馬 車椅子レクダンス普及会 理事長	13:01
3 ご来賓挨拶 櫻井義之 亀山市長 他 ご来賓紹介・祝電紹介	13:04
4 車椅子贈呈 (2台) ふれあいフェスティバル全国大会in亀山 実行委員会及び 伊藤春雄四日市前支部長より開催地亀山市社会福祉協議会へ	13:20
5 車椅子レクダンス準備体操 しあわせのうた	13:25
6 車椅子フォークダンス・レクダンスタイム (6曲) ①ダンケルクの鐘 ②キンダーポルカ ③ビューティフルサンデー ④365歩のマーチ ⑤憧れのハワイ航路 ⑥手と手でしあわせ	13:30
7 参加支部の紹介等 抽選会	13:55
8 韓国タイム (2曲) ①故郷の春(韓国唱歌) ②アリラン	14:10
9 亀山タイム 灯踊り 全員参加で亀山音頭	14:20
10 社交ダンス・タイム(5曲) ブルース・マンボ・ルンバ・ワルツ・チャチャ	14:40
11 車椅子レクダンス・タイム (5曲) ①想いをよろしく ②二人は若い ③東京のバスガール ④南の島のハメハメハ大王 ⑤バリフタウン賛歌	15:10
12 大会旗 引継 亀山から次回開催地 韓国へ大会旗引継・挨拶	15:40
13 閉会宣言 山脇 博 副実行委員長	15:50

バリフタウン賛歌 (大会テーマソング)

作詞 仙の石 作曲:うた 美樹子

- 1番 この地球(ほし)に 命をうけて 生きてきて
悩んだ日もある 泣いた日も
だれだって だれだって ころころに描く夢、生きるなんて
できっこないのだ そうなんだ
でもね でもね 人をうらやむことよりも
もっと楽しく生きようよ
つくって みようよ バリフタウン
- 2番 人の世の 時の流れに さからえず
にくんだ日もある 泣いた日も
だれだって だれだって ころころに重荷をもっている
すさんだ心と あきらめと
でもね でもね 一番つらいそのときに
きっと誰かがやってくる
つくろう めざそう バリフタウン
- 3番 このまちで 生きると決めた その日から
変えてみようよ 生き方を
だれだって だれだって ころころにもってるはずなんだ
世の中捨てたものじゃない
勇気だして 今こそ 生き方 変えようよ
誰かが あなたを待っている
つくろう いまこそ バリフタウン
つくろう いまこそ バリフタウン バリフタウン

発表 2010年8月10日 作詞者 仙の石 亀山市在住 (60歳代)
作曲者:うた 美樹子 亀山市在住 (20歳代)

バリフタウンという言葉、新鮮な響きです。
それもそのはず当地亀山で生まれた新語です。
社会には、年齢、身体、まちのつくり、それに心のありかた等さまざまなバリアがあります。
バリアを少しでも減らしバリアフリーのまちづくりへの活動を「めざそうバリフタウン」としました。
この大会には多くの市民がボランティアとして準備し参加しています。
いままさに、バリフタウンへと動き出した亀山を全国の人たちに見ていただき
この大会がこのまち亀山からさまざまなバリアを無くしていく契機となるよう願っています。
めざそうバリフタウン実行委員会一同



亀山市には東海道の宿場が亀山、関、坂下と3宿もありました。
関宿は江戸時代の姿がそのまま保存され
全国から往時の町並みを求めて訪ねる人が絶えません。

三重県といえば伊勢神宮
誰もが一度は訪ねたい日本文化の原点です。



亀山市の名産品は亀山茶
県下最大の茶園、中の山パイロットでは
見渡す限りに広がる茶畑と鈴鹿山脈の
壮大な眺めに時の過ぎるのを忘れます。



新しい亀山名物といえば
B-1グランプリでもおなじみの
亀山みそ焼うどん。
市内30店舗で提供され
冷凍では全国のスーパーでも
販売されています。
シンボルキャラクターは
かめみちゃんです。

